

富士川

9月号 昭和45年9月25日 No.122 富士川町役場発行
 富士川町岩淵121番地
 電話 80 1 1 1 1

町の人口

45.9.1現在	15,222人
男	7,517人
女	7,705人
世帯数	3,450世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T 60304

スポーツの秋

町民体育大会

10月11日に挙行

第14回町民体育大会は、きたる十月十一日(日)一中校庭で挙行されます。(雨天の場合は18日) わたくしたち町民が一年一回秋の運動場に集まって、共に楽しみ笑い、喜び合う交歓のとき。

午前八時に開会式、八時半に競技が開始します。

主管する町体育協会(尾崎初男会長)は、詳細な運営予定表にしたがって作業をすすめており、各区体育部長を対象に要項説明会を九月五日に実施し、さらに十八日午後七時、役場大会議室に全区長を招いて協力を要請する等、いよいよ町民体育大会の幕は切って落されました。

ことし、例年と違って改正された種目があります。

①百足競走 一般男子20人になりました。

②親子二人三脚リレー

四組になりました

③アベックリレー 第四走者男

女とも所定のカードの指示にしたがってゴールイン。

④障害物リレー 綱・平均台の

配置を交換。

また、主催者側(体育協会・富

士川町・富士川町教育委員会)は役員に傷害保険をかける等、事故に対しても万全の処置をはかっています。

なお、毎年盛んになる応援合戦にも興味をそそられます。ことしも、例年にまさるとも劣らぬ豊富な話題を提供して、すばらしい町民体育大会となることでしょう。



写真 郡陸上競技大会で優勝した富士川チーム

—郡陸競大会で—

富士川町

総合三年連続優勝

第5回庵原郡陸上競技大会は、八月三十日、蒲原町中学校グラウンドで行なわれ、当町は総合の部で三年連続優勝、青年の部でも出場選手フルエントリーにより健闘個人優勝種目こそ少なかったが全員が上位に入賞し初優勝を記録しました。

総合 優勝 一八八点 富士川町

二位 一二〇点 由比町

三位 八九点 蒲原町

青年 優勝 九八八点 富士川町

二位 八〇点 由比町

三位 六八八点 蒲原町

一般 優勝 九〇点 富士川町

二位 四〇点 由比町

三位 二一点 蒲原町

■個人記録(敬称略)

一般(三〇歳未満・高校、大学生)

一〇〇位 二二秒 赤堀英利

四〇〇位 五秒五 赤堀英利

一五〇〇位 四分四十八秒二 田森昭次

一般(三〇歳未満・社会人)

一〇〇位 十二秒〇 丸山善浩

一五〇〇位 五分七秒六 古屋逸亘

砲丸投 一位 一一・〇m 藤島 肇

一般(三〇歳以上)

一〇〇位 十三秒五 清 堅司

砲丸投 一位 一〇・七m 若月伸元

一般(四〇歳以上)

八〇〇位 十一秒四 加藤正直

砲丸投 二位 九・八三m 加藤正直

青年

五〇〇〇位 一八分六秒〇 清 勝元

へドロ陸上処理に

先手打つ

田子浦港のへドロが問題化するにつれ、関係者間で、緊急対策として、木島地先対岸の岩本山砂利採掘現場への投棄を考え始めているような新聞報道等に接して、わたくしらは町民は、また新たな公害発生源を目的先に押しつけられる不安に包まれました。

中川町長は、噂の内に先手を打つ必要があるとして、九月十六日、望月町議会議長、芦川副議長（公害対策委員長兼務）とともに県庁はか関係上級機関各部署を訪れ、計十四通の陳情書をそれぞれ手交して、岩本山投棄の不法性を訴え、関係者が科学的へドロ処理施設の設置に踏みきられ、他市町に迷惑をかけないよう、その指導を強く要望しました。

町内工場の

汚水調査

へドロ対策が全国的に考えられるようになった今日、公害を担当する企画課では、町内工場の水質検査を実施、以後も適時に検査を続け、町内からは決して汚水をださないよう指導する体制を固めています。

われわれの財産

民俗資料館

9月1日開館



写真 資料館内部 右端、説明を聞く中川町長

文化の面でも他町より先行する当町にもう一つ誇りを付け加えることになりました。

わたくしたちの先祖の生活様式をしのぶ民俗資料三百余点を収蔵した民俗資料館を町民の財産として生みだしたことです。

九月一日に開館、一週間、町民皆さんに一般公開し、以後は月に一回程度開館。資料館は、町立第二小学校構内の旧給食準備室を改造したものです。

町教育委員会が二年前想を練り去年、町婦人学級が文部省から郷土史研究を委嘱されたのを機に、

小池川改修に

町・議会努力!

公開できる状態になったわけですが、町教育委員会では、まだまだ不足する部分があり、今後も町民皆さんからの民俗資料提供に期待しています。

資料館には、養蚕の道具、はた織道具、紙すき一式、二人用の鋤

富士川通船の舟作りに使用した船くぎ、夫工道具、龍吐水と呼ばれた消防ポンプ、百万遍念珠、江戸時代正徳元年のキリシタン宗門禁制の高札、わら製品を作る器具、あんどん、木樵用具、山かご等が説明書付で展示されています。

小池川の改修は当町にとって大きな課題です。

小池川は、岩瀨・中之郷地区の排水を一手に集めているため、豪雨に襲われる都度、幸町・本通一

帯の町民は、30年水害の再現を怖れています。

このため、町および町議会は、機会あるごとに国、県に強く働きかけ、改修早期実現方を陳情し続けております。

九月二十四日にも、議会の小池川改修促進特別委員会（養武司委員長）が開かれ、年次ごとの工事では促進できないため、川幅を広げるための用地買収を先にどんどん進めることを決め、関係地主五十二名の方に協力方を要請、一日も早く完工できるように県へ申し入れました。

事業を推進する県側でも、この実状をよく理解して工事を進めており、雨に苦しめられてきた付近町民の悩みに明るい見通しを寄せています。

富士川富沢線

バイパス建設に

猛運動展開

町産業開発道路開成同盟会役員会は、九月二十一日午後一時役場大会議室で開かれました。

まず町当局から今までの交通対策の経過の説明、続いて望月一郎

地元対策委員長の交通量調査とますます悪化する状況の説明を受けその対策について四時半まで真剣

な協議が行なわれました。同線のバイパス建設以外に解決の方法がないという結論に達した

同役員会は、近々、全会員による総会を町立第一公民館で開いて、

バイパス建設早期実現を決議して町内外に猛運動を展開することになりました。

町内から二人

海外諸国の視察

望月八代婦人会長と農協青年部の芦川清治さんのお二人が、渡欧渡米、それぞれの目的を抱いて研修視察します。

町は、九月十四日、午後三時、会費制渡欧・米壮行会を開催、多くの賛同者の皆さんが、盛大にお二人の前途を祝福しました。

中川町長の話
「お二人が、つつがなく、所期の目的を果たし、帰国後、それぞれの分野で指導者としてより一層、町の発展に尽力されるよう祈ります」

婦人会長

望月八代さん

望月八代婦人会長は、四十日間ヨーロッパ・アジア（ドイツ・スイス・イタリヤ・インド・マレーシア）の婦人教育活動を視察します。



文部省社会教育局のきびしい選定基準をパスして昭和45年度の婦人教育指導者海外派遣B班（ヨーロッパ・アジア回り）七名の内にはいったもの。

この目的は、婦人の指導者が海外における婦人の生活および婦人教育に関する視察研究を行ない国際的視野を広めるとともに、各国の婦人との交友を通じて相互の理解と友好を深め、婦人教育の振興をはかることにあります。

九月二十五日に出発、十一月下旬帰国します。

望月会長は、婦人指導者として町内でもちろん郡の会長として県の役員として、その手腕は高く評価されており、今回、全国からの選抜にはいったのもその表れと

いえましよう。

たんに望月会長の名誉にとどまらず、町の、県の榮譽です。

望月会長の話「わたくしをここまでお導きくださった皆さんのご好意、お力添えに対しまして心から感謝しています。

五月二十五日から三十日まで、この渡欧に備えて、国立教育会館東京青山会館で宿泊研修をしてより、気構えはできたとはいえ、責任の重大さを痛感しています。しかし、姿勢はリラックスして、諸外国の婦人活動をじっくり視察してまいりたいと思います」

農協青年部

芦川清司さん

芦川清司さん（木島・農業）はアメリカの進んだ農業事情を視察します。

これは、県柑橘振興会が全国に先がけて実施しているもので、去年に引続き二回目の海外柑橘産業研修です。

研修生は、県内の優秀な農業後継者三十名。九月十九日出発十月四日帰国。

芦川清司さんの話「九月十一日県庁での壮行会席上、竹山県知事栗田農林水産部長、塚口静柑連会長の皆さんから激励のあいさつを

時田・中野さん

有功章表彰

当町の時田勇さん（相生町）と中野喜好さんが、全国赤十字大会席上、それぞれ金有功章、銀有功章を受彰しました。

45年度全国赤十字大会は、九月二十六日午前十時、日比谷公会堂で名誉総裁皇后陛下のご臨席のもと開催されました。

時田さん、中野さんは、赤十字社員として大きな功績をあげ、同日の受彰となったものです。

文協でも

望月さんの

壮行会

町文化協会（秀村敏朗会長）は恒例の親月会に望月八代同会副会長の渡欧壮行会を加え、九月十九日、百四十余人の会員、来賓者を集めて、老人福祉センターで盛大に挙行了しました。

お手のもののアトラクションもにぎやかに、参会者一同、心をこめて同副会長の渡欧を祝福しました。

なお、文協は、文化祭が迫り、各部の活動も一段と活発化しています。



ナッフル畑、機械化されたかん詰工場を見てください。

町 税

たばこの税金

一千八百万円

昭和44年3月から45年2月までの一年間に町にはいったたばこ消費税は一千八百三十九万七千八百円となっています。

町内のたばこ小売店(サービスエリヤもはいります)がたばこを売る都度、一本約六十五銭ずつ、町税として労せず町へはいる仕組みになっています。

ですから、町内のたばこの売上

入場券の半片は
必ず受取りましょう

役場 税務 課

家 屋 調 査

役場税務課は、九月二十四日から十月八日まで固定資産税の課税基礎になる家屋調査を実施します。職員三人ずつ二班で該当家屋を調査。この対家家屋総数は約百戸

げ向上が即町税増となる関係にあります。そこで、エリヤのたばこ売上げが目まぐるしく、またわたくしたちが町外で買わないで町内で買うようにしたいわけです。

家庭でつくって

よい酒 悪い酒

酒税法は、家庭で、果物等にシウチュウと砂糖を混ぜ合わせて酒をつくることを許しています。この許されている果物等は、梅みかん(温州みかん・紀州みかん夏みかん・レモンに限る)すももかりん・いちご・んにく・くこしそ・くわ・またたび・とち・さるなし・ぐみの十三品目です。

これ以外のもの、たとえば、ぶどう・りんご・桃・さくらんぼ・柿などでつくると、ドロクとと同じように密造酒となります。なお、家庭でつくってよい酒でも、家庭で飲む以外、他人に販売することはできません。

生活環境の向上が全国的に叫ばれている今日、当町でも、いよいよ念願の下水道建設を推進することになりました。



写真 水路の清掃

家庭の生活文化が向上するばかりでなく、終末処理設備により河川や海の汚染防止のためにもぜひ必要な施設です。

当町では、47年から公共下水道を計画しています。第一次として中之郷・岩淵地区を計画しており排水管・終末処理施設建設等、概算十二億円かかるため年次計画をたてて実施する予定です。

以後、小山、木島、松野地区と進めて、将来は富士川町全域を整備し、名実ともに文化的な町造りを計画しています。

なお役場建設課では、水路へは決して汚物やビニール製製品を流さないよう、自分たちの生活環境は自分たちで守るよう要望しています。

47年から

下水道を建設

- 上町 七六〇〇舟山 九八五〇
- 坂下 九〇〇〇旭町 九八五〇
- 堺町 五八五〇川坂 三四五〇
- 新町 五四〇〇新四一四六〇〇
- 宮町 五二〇〇小池 三八五〇
- 本一 八六〇〇本三 五二〇〇
- 本四 五〇五〇幸町 七九〇〇
- 東1 一一八五〇東2 六八五〇
- 日出 二四〇〇
- 小計 一五〇九〇〇
- 南町 二六〇〇富士見七九五〇
- かき 四五〇〇八幡 八八〇〇
- 清水 七四〇〇大北 九四五〇
- 儘下 五二〇〇
- 小計 五一八五〇
- 合計 二〇二七五〇

やめてください

犬の放し飼

九月は厚生省主催の「野犬一掃運動月間」で、町でも県保健所と協力して毎月不用犬回収、捕獲等実施して下さっており感謝しています。

しかし、犬の放し飼いが減らず郵便物を配達するわたくしたちは非常に危険なめにあっています。町条例でも放し飼いはできないことになっています。どうぞ、いつもつないでおかれるよう、飼い主の皆さんのご協力をお願いします。

富士川町郵便局

手をつなぐ親の会

45年の協力費

町手をつなぐ親の会(金指蒸三会長)は、身障児童のしあわせのため日夜努力しています。

町民皆さんもこの会の活動を支援するための浄財を寄せており、ことしは次のような結果になっています。

- 木島 四五五〇小山 二七五〇
- 室野 四〇五〇相生 一七〇五〇

善意銀行寄託

(7月14日～9月10日)

五万円	佐野臣弘	根方
千四	岩崎柳吉	東二
千七百六十七円やよい会	相生	宮町
雑布四〇枚	白寿会	宮町
雑布一二五枚・ハタキ二一本・竹	南町	
一万円	角替健一	木島
千円・雑布二百枚	幸和会幸町	旭町
一円玉二〇〇円貼川伸代	東二	宮町
	雑布三一枚	白寿会

赤ちゃんコンクール

淳子ちゃん入賞

久保田淳子ちゃん(一歳)が、田中屋主権、静岡新聞後援の赤ちゃん発育コンクールで優秀赤ちゃんとして入賞。おとうさんは、旭町の久保田容弘さん(製材業) このコンクールには県下の八カ月から十八カ月の間の赤ちゃん二百人近くが応募、八月二十八日、小児科医師・川野辺先生ほか二人の審査員の審査を経た結果、男の赤ちゃん三人、女の赤ちゃん三人が優秀赤ちゃんとして入賞、淳子ちゃんも見事入賞したのも。淳子ちゃんは、表彰状と盾・おもちや二点・ベビー服をもらって無心の笑顔。



写真 淳子ちゃん、表彰状・記念品と一緒に。

七十五歳以上の方

全町で三百六十四人

当町の敬老会は、九月十七日、大富士ヘルスセンターで開催されました。

七十五歳以上の方は全町で三百六十四人。

最高令者は九十三歳の方三人。八十歳から最高令者までは百六十一人となっています。

敬老金および記念品が贈られた後、中川町長と望月議長からそれぞれ「いつまでもお元気に」とあいさつがありました。

毎年、婦人会の奉仕で楽しい集まりとなっており、式の終わった後舞踊等を観覧、なごやかな一日を送りました。

共同募金

ことしの目標

44万円

ことしも共同募金のシーズンを迎えることになりました。

募金の期間は十月一日から十二月三十一日まで。一般募金が十月一日から同月三十一日まで、歳末

がしあわせであるようにと願うのがわたくしたちの心です。この期間中、すすんで寄金し、社会福祉事業に協力しようではありませんか。

当町では、世帯百円を目標としていますが、応分な寄金をお願いします。町総額目標としては四十四万円を考えています。(住民課)

高い年金額

受付 十月より

〈国民年金〉

厚生年金や共済組合など職場の年金制度に加入している人は、給与の額に応じた保険料を納めることによって、退職後の老齢年金や退職年金も多く受けられるようになっています。

国民年金でも、これらの年金制度のように、所得のある人には、将来高い老齢年金を受けることができる制度がとり入れられ、四十五年十月から始まることになりました。

加入できる人

①所得のある人 昭和45年度分町民税の課税対象となっている事業所得、給与所得、退職所得、山林所得などがある人

②青色事業専従者または事業専従者 所得がない人でも、青色申告の事業専従者や事業専従者になっている人。ただし、①とも、国民年金保険料の免除を受けている人は加入できません。

保険料の額 一カ月 三五〇円(一般の保険料四五〇円とは別ですから、一カ月計八百円納めることとなります)

納め方および年金額、加入の手続については、役場住民課国民年金係(81・一一一)へお問い合わせください。

婦 人 文 化 教 室

ユニークな学習

婦 人

バレエボール大会

一 小 体 育 館

町教育委員会主催の婦人バレエボール大会が、九月十三日、一小体育館で八チーム参加のもと挙行されました。

宮町が優勝、二位新町四十九



写真 熱戦を展開する婦人バレエボール大会

当町の婦人文化教室は、たいへんユニークな学習をしています。学級生は四十六名(指導・池谷社会教育主事)

六月十二日にデッサン、同月二十三日にはバレエとダンス、七月十日には短歌とお茶を福祉センターで開講。七月二十七日、野田山への植物採集、八月七日には七宝焼をセンターで、八月二十一日に沼津市を訪れ、文学散歩とスケッチ九月四日に読書会を開くなど多彩で魅力ある活動を続けています。今までの講師陣は、渡辺清・秋山祐貴子・天野寛・八木勝・佐藤道功の諸先生。

秋の交通安全運動

酒提供業者と話し合う

十月六日から十月十五日までの十日間、秋の交通安全運動が実施されます。

当町の交通安全対策委員会(中川国兵会長)交通安全協会富士川分会(久保田為雄分会長)交通安全委員連絡会(滝勝巳委員長)は期間中次の事業を実施します。

- ① 交通安全パレード
- ② 一日交通警察官
- ③ 交通安全職場集会
- ④ 歩行者交通安全教室
- ⑤ ダンプ業者との協議会
- ⑥ 酒類提供業者との協議会
- ⑦ 安全運転管理者会
- ⑧ 夜間パトロール(飲酒運転取締車指導等・自動車街頭指導)
- ⑨ 横断歩道、歩行者指導
- ⑩ 町道の交通安全施設調査

文協だより

町文化協会(秀村敏朗会長)は文化祭の準備にはいるとともに、例年同日十一月三日発刊の機関誌「文潤」の編集作業を進める等、いよいよ秋色濃しの感があります

町の交通安全指導

体育関係の

資格のある方へ

富士川町体育協会(尾崎初男会長)は、今後の町社会体育をいっそう積極的に推進するため、町内の体育関係資格所有者を台帳に記録し協力を求めようと、調査を始めています。

- ① 各種公認審判員
- ② 水上安全指導員・救助員
- ③ スポーツテスト判定員
- ④ トレーナー
- ⑤ 有段者
- ⑥ その他

右に該当する方は、10月30日までにハガキまたは電話により体育協会事務局・丸山事務局長(富士川町役場内・81-111)へ次の事項をお知らせください。

資格名・取得年月日・氏名・生年月日・住所
資格のある方、ぜひ、富士川町の社会体育向上のためお力添えください。



井上靖の短篇集「愛」(角川文庫・70円)、「結婚記念日」(石庭)、「死と恋と波と」の三篇

の読書会をやった。婦人文化教室である。九月四日午前。生徒二十六人。「結婚記念日」は、ひどくケチ同志の夫婦の「たまらなく切なくいいらしい」愛情を描く。

「石庭」は、京都龍安寺の世俗ときびしく対立する孤高な精神のみなざる石の庭が、純粋な愛に生きる勇気を呼びます話。

「死と恋……」は、自殺志願の見知らぬ男女が、虚栄を捨てた人間の生き方を見出す話。

八月下旬、自費で一括購入全員が読んできた。この日集団で検討。小説の深みをよむ帰ってから、また一人で読みたくなれば、もう立派なものである。

——以上 万博病処方箋。

社会教育主事 池谷九万夫

青年体育大会

走幅跳 に新記録

総合では 北松野優勝

町連合青年団(池田一郎団長)は、恒例の体育大会を八月二十三日(日)午前九時、一中校庭で開催、楽しいリクレーション種目も盛り込み、午後三時まで競技を行ないました。

その結果、北松野支部が昨年に引続き優勝しています。

- 総合 優勝 一八七点 北松野
- 二位 一六六点 南松野
- 三位 一二二点 富士川
- 四位 九六点 木島
- 五位 八一点 岩淵

とくに、今回の大会が注目されるのは、個人成績で大会新記録が出たことです。中之郷支部の池田辰哉君(19歳 会社員)が走幅跳で樹立したもので、6メートル21。

池田君の今後の精進に期待したいものです。

同君はすでに県大会出場が決定、その成績いかんによっては全国大会へも出場できるわけです。

青年 バレーボール リーグ戦

青年バレーボールリーグ戦(前月号詳報)は、八月五日の第一回戦を皮切りに、八月、九月と試合を続けてきています。

- 八月相生町1勝・新町1敗
 - 東町 1勝・室野1敗
 - 九月相生町2勝・東町1勝1敗
 - 新町 1勝1敗・室野?敗
- 今回は九十鉄工所対北松野、南松野対サインはV。

写真 優勝した北松野チーム



富士川短歌会

八月詠草 天野寛選

植松秀子

寄りがたき性なりながらふと見たる笑顔のやさしい人と思いが、偶然やさしい一面を見せてくれて急に職場が明るくなったとであらう。

望月 録

盆に来て埋立成りし里の田の水 萩群れ咲く畦に立ちたり。
※はげしく変貌する中であって、せめて故里だけは昔のままであって欲しいと希う作者の心理はうなずける。

長橋安子

汗垂りてもの売る窓にきこえ来る 遠き鐘の音よ今日原爆の日
※一人の作者の悲しみは国民すべての悲しみである。情に溺れずよく表現している。結句の体言止が利いている。

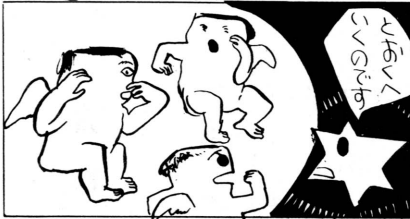
高橋勝治

赤き月長良の川の上に出でて 鶴飼舟にて歌を歌ひぬ

※楽しい歌である。上句は実際に即してうまく表白したが、下句は自分を出したのは推敲を要する。すぐれた抒情を最後まで押し通したいところである。

星の子

太田利三



南松野支部

富士川町連合青年団南松野支部(斎藤輝嘉支部長・24歳・店員)は、団員五十余名。

すばらしい支部に育てようと団員一同張りきっています。バレーボール大会、ダンスサークルには揃って参加、また、この夏には初めて盆踊大会を主催するなど、今後も体育・文化面で青春を歌いあげようと意気盛んな活動ぶり。

青年団支部紹介

